

平成20年度関東倶楽部対抗千葉第2ブロック予選競技 組合わせおよびスタート時間表

(参加者 20倶楽部・160名)

期日：平成20年5月19日(月)

場所：鶴舞カントリー倶楽部 西コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	四 宮 治 郎	京	原 篤	紫	吉 田 秀 司	勝浦	白 井 敏 夫	総武
2	7:39	吉 原 富 雄	レインボーヒルズ	菅 野 孝 男	鶴舞	濱 本 潔	カナリヤガーデン	駒 修 次	上総富士
3	7:48	松 崎 博 彦	千葉新日本	片 山 正 八	中山	飯 沼 宏 太郎	館山	岩 井 正 一	習志野
4	7:57	樫 山 陶 一	かずさ	新 島 宗 太郎	花生	西 山 靖 彦	白鳳	三 上 毅	千葉夷隅
5	8:06	山 田 雅 庸	香取	白 井 剛	船橋	鈴 木 久 男	東京湾	縣 芳 光	鴨川
6	8:15	高 橋 昇 一	京	井 上 隆	勝浦	永 井 四 郎	レインボーヒルズ	宮 本 隆 則	カナリヤガーデン
7	8:24	安 田 進	千葉新日本	鈴 木 安 弘	館山	田 中 賢 治	かずさ	川 田 充 利	白鳳
8	8:33	井久保 隆 敏	香取	斉 藤 光 男	東京湾	一 色 譲	紫	中 島 久 幸	総武
9	8:42	福 島 耕 治	鶴舞	波田地 俊 春	上総富士	上 代 修 二	中山	黒河内 聡	習志野
10	8:51	上 野 定 則	花生	渡 辺 哲 男	千葉夷隅	東 風 巧	船橋	若 菜 直 樹	鴨川
11	9:00	岡 田 洋	京	鈴 木 康 正	総武	吉 田 日出男	カナリヤガーデン	大 塚 稔	中山
12	9:09	松 本 照 雄	かずさ	塩 本 広 海	千葉夷隅	佐 藤 新 一	東京湾	中 村 幸 夫	紫
13	9:18	牛 尾 守	レインボーヒルズ	松 田 満	上総富士	丸 谷 巖	館山	田 中 攻	花生
14	9:27	大谷津 泰	香取	小 川 公 男	鴨川	石 川 由 春	勝浦	吉 原 実	鶴舞
15	9:36	荻 野 幸 伸	千葉新日本	宮 辰 夫	習志野	桧 垣 仁 一	白鳳	原 田 英 治	船橋
16	9:45	古 田 宗 俊	京	早 船 静 四郎	レインボーヒルズ	金 子 久 雄	千葉新日本	志 田 宜 勇	かずさ
17	9:54	持 田 勉	香取	藤 巻 厚 二	紫	大 川 博 史	鶴舞	吉 野 健 治	中山
18	10:03	鎬 木 正 夫	花生	額 賀 義 朗	船橋	植 村 正 文	勝浦	森 謙 一	カナリヤガーデン
19	10:12	紺 野 静 雄	館山	村 山 孝 利	白鳳	日 吉 健 二	東京湾	津 田 信 男	総武
20	10:21	森 正 樹	上総富士	山 田 秀 樹	習志野	有 川 楽 雄	千葉夷隅	神 子 仁	鴨川

10番よりスタート Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	千年原 一 仁	京	會 田 一	鶴舞	廣 部 清 隆	館山	清 水 充 康	千葉夷隅
2	7:39	中 村 裕	紫	森 塚 浩	カナリヤガーデン	鮫 島 周 平	習志野	宮 川 一 志	香取
3	7:48	三 崎 正 彦	勝浦	石 井 克 暁	上総富士	丹 菊 博 仁	かずさ	金 田 幸 一 郎	船橋
4	7:57	杉 山 稔	総武	伊 藤 泰 樹	千葉新日本	浅 田 勉	花生	牛 尾 雄 一	東京湾
5	8:06	柴 崎 充 雅	レインボーヒルズ	小 林 正 幸	中山	渡 辺 良 隆	白鳳	小 松 勝 広	鴨川
6	8:15	荻 島 征 彦	京	大 内 豊	カナリヤガーデン	中 村 昌 弘	かずさ	岡 村 善 裕	東京湾
7	8:24	宮 本 貴 夫	紫	奥 正 昭	上総富士	山 口 勝 示	花生	起 田 茂 男	鴨川
8	8:33	相 川 義 明	勝浦	山 川 朗	千葉新日本	岡 田 佳 也	白鳳	亀 田 欣 吾	総武
9	8:42	千 野 英 樹	中山	佐久間 淳	千葉夷隅	花 香 泰 明	レインボーヒルズ	守 屋 友 貴	館山
10	8:51	金 永 植	香取	有 我 栄 一 郎	鶴舞	滝 澤 泰 三	習志野	額 賀 逸 朗	船橋
11	9:00	泉 水 宏 之	京	白 石 順 一	上総富士	安 藤 英 俊	白鳳	中 本 雅 久	紫
12	9:09	高 橋 講 暢	千葉新日本	田 村 一 美	千葉夷隅	清 水 利 和	勝浦	菅 井 龍 夫	中山
13	9:18	戸 塚 穰 司	香取	浮ヶ谷 信 夫	総武	吉 田 忠	館山	深 沢 勝 彦	船橋
14	9:27	永 井 耕 一	レインボーヒルズ	岡 本 聡	習志野	荒 谷 勝 俊	東京湾	榎 本 剛 之	鶴舞
15	9:36	町 山 義 昌	かずさ	樗 澤 正 彦	鴨川	太 田 好 美	カナリヤガーデン	丸 繁 勘	花生
16	9:45	藤 井 洋 介	京	大 宮 宗 明	千葉新日本	鍋 島 信 之	香取	青 木 正 之	紫
17	9:54	尾 崎 学	中山	木 村 知 道	船橋	渡 辺 昭 雄	勝浦	山 本 功 一	館山
18	10:03	青 木 克 浩	東京湾	伊 藤 尚	総武	福 山 憲 一	習志野	前 田 忠 利	鴨川
19	10:12	宮 内 幹 穂	レインボーヒルズ	柳 下 尚 道	かずさ	會 田 善 文	鶴舞	中 村 登 志 雄	花生
20	10:21	石 井 肇	カナリヤガーデン	工 藤 弘	白鳳	松 崎 謹 三	上総富士	服 部 啓 一 郎	千葉夷隅

競技委員長 岡崎 光伸

平成 20 年度 関東倶楽部対抗千葉第 2 ブロック予選競技

開 催 日 :平成 20 年 5 月 19 日(月)

開催コース :鶴舞カントリー倶楽部・西コース

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用球の規格

『公認球リストの条件・ゴルフ規則付 (c)1b』を適用する(ゴルフ規則 187 ページ参照)。

4. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付 (c)1a』を適用する(ゴルフ規則 185 ページ参照)。

5. スタート時間

『ゴルフ規則付 (c)2』を適用する(ゴルフ規則 188 ページ参照)。

6. ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則付 (c)6b』を適用する(ゴルフ規則 191 ページ参照)。

7. プレーの中断と再開

(1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間でいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は**競技失格**とする。この条件の違反の罰は**競技失格**(ゴルフ規則 6-8b 注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

8. 移 動

正規のラウンド中の移動について『ゴルフ規則付 (c)9 移動』を適用する

(ゴルフ規則 193 ページ参照)。

但し、1 番ホールから 2 番ホールへのエスカレータは使用可とする。

9. キャディー

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付 (c)3』を適用する(ゴルフ規則 189 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
3. 排水溝は動かせない障害物とする。
4. 電磁誘導カート用の人工の表面を持つ軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。
球がこのカート道路の上にある場合、競技者はゴルフ規則 24-2b(i)の救済を受けなければならない。**このローカルルールの違反の罰は、2 打。**
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. クローズド(Closed)の標示のある予備グリーン(カラーを含む)はプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、競技者は、ゴルフ規則 25-1b(i)の救済を受けなければならない。**このローカルルールの違反の罰は、2 打。**
7. 樹木保護のための巻物施設(巻網など)は樹木の一部とみなす。ただし、樹木の巻物にはさまった球は、**罰なしに**、その真下の地点から1クラブレンジ以内で、しかもホールに近づかない所にドロップすることができる。取り出した球はふくことができる。その球をすぐには取り戻せない場合は、別の球に取り替えることができる。**このローカルルールの違反の罰は、2 打。**

注 意 事 項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティーインググラウンド付近に掲示して告示する。
2. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は1人 1 コイン(30 球)を限度とする。
3. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。

競技委員長 岡崎 光伸